

# 韓国ワークショップ以前

B4, M1 を対象とした基礎のレクチャー



# このレクチャーの目標

## Fun4All 講習会を受ける準備



# このレクチャーの目標

## Fun4All 講習会を受ける準備

- Fun4All は難しい
  - 前提とする知識が多い
    - ▶ Linux
    - ▶ C/C++
    - ▶ コンパイル, automake, configure,
    - ▶ 共有ライブラリ
    - ▶ ROOT
    - ▶ Git/GitHub







# このレクチャーの目標

## Fun4All 講習会を受ける準備

- Fun4All は難しい
  - 前提とする知識が多い
    - ▶ Linux
    - ▶ C/C++
    - ▶ コンパイル, automake, configure,
    - ▶ 共有ライブラリ
    - ▶ ROOT
    - ▶ Git/GitHub
  - 良いサンプルがない
    - ▶ [sPHENIX のサンプル](#) は中級者向け
- Fun4All 講習会を受けるための環境構築も必要



sPHENIX チュートリアルレポジトリにあるマクロ (tutorials/AnaTutorial/macro/Fun4All\_AnaTutorial\_sPHENIX.C) 最も代表的なマクロですら 700 行以上ある。



# このレクチャーの目標

## Fun4All 講習会を受ける準備

- Fun4All は難しい
  - 前提とする知識が多い
    - ▶ Linux
    - ▶ C/C++
    - ▶ コンパイル, automake, configure,
    - ▶ 共有ライブラリ
    - ▶ ROOT
    - ▶ Git/GitHub
  - 良いサンプルがない
    - ▶ [sPHENIX のサンプル](#)は中級者向け
- Fun4All 講習会を受けるための環境構築も必要

→ 韓国ワークショップの Fun4All 講習会を受けるに必要な知識を身に付けなければならない



sPHENIX チュートリアルレポジトリにあるマクロ (tutorials/AnaTutorial/macro/Fun4All\_AnaTutorial\_sPHENIX.C) 最も代表的なマクロですら 700 行以上ある。



# 目次

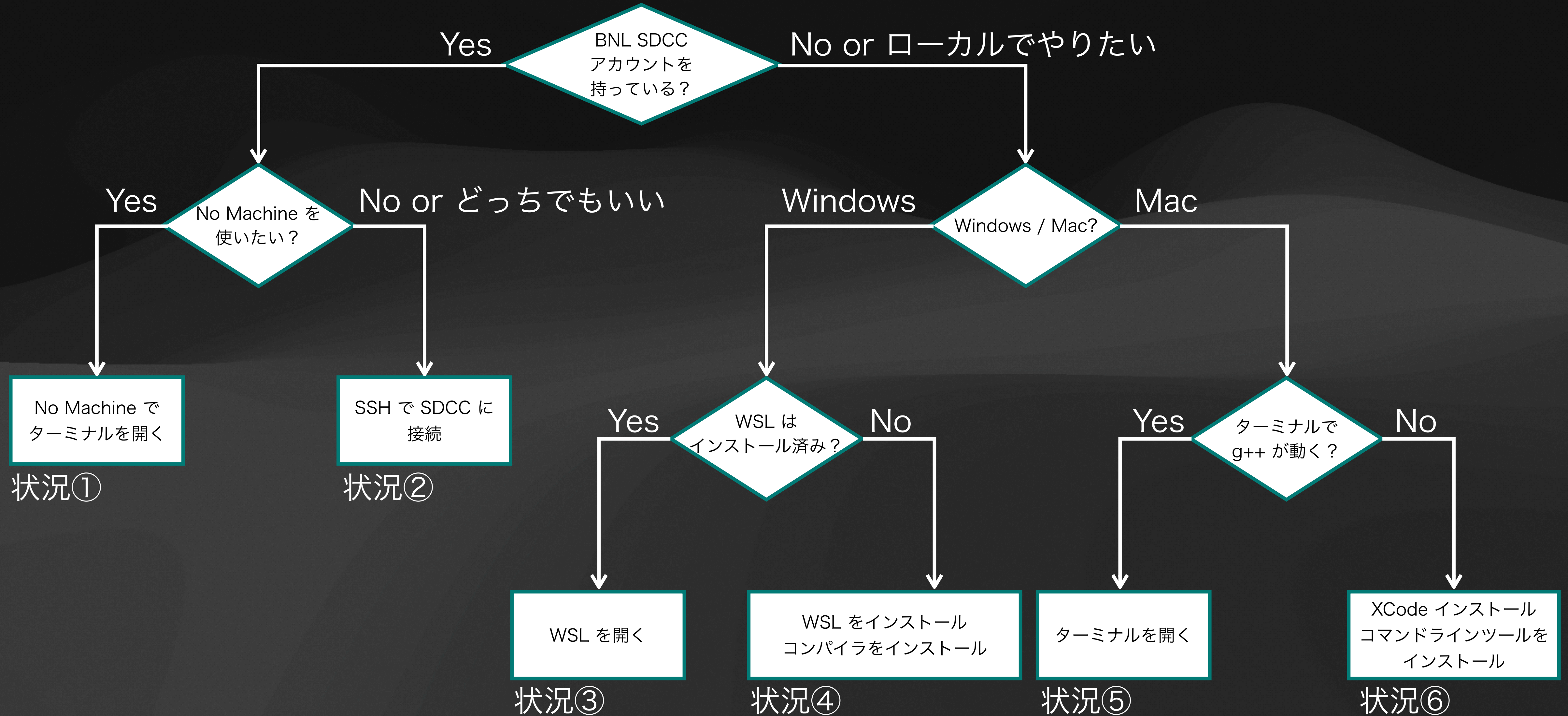
1. スマホ世代のための予備知識
2. プログラミング以前
3. C 言語、C++ 言語
4. ROOT
5. Fun4All 講習会に向けた準備

BNL の SDCC アカウントを持っていない人や、sPHENIX 以外の人にも 1~4 は役に立つと思います。  
入退室自由です。気楽にやりましょう。

※ [水色](#)はリンクが付いています。興味のある方は後で読んでみてください。



# C/C++ プログラミングの準備：チェック



皆さんはどの状況ですか？Zoom のチャットで教えて下さい。



# C/C++ プログラミングの準備：状況④の人

1. WSL2 のインストール：<https://learn.microsoft.com/ja-jp/windows/wsl/install>

2. コンパイラのインストールはターミナル上で

```
sudo apt install build-essential
```

を実行すればいいはず



# C/C++ プログラミングの準備：状況⑥の人

## 1. Xcode のインストール



## 2. ターミナルで

`xcode-select --install`  
を実行する





# 質問：PC や IT にどのくらい詳しいですか？

皆さんの状況を確認するために、[アンケート](#)に回答してください